

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・春物の商品の動きが良く、客足も伸びている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・販売件数が少しずつ上向いている。例年に比べて販売数量が101～102%と徐々に増加してきている。
		自動車備品販売店（経営者）	単価の動き	・売上が約3%増加しており、客単価も若干上昇している。
		その他専門店〔贈答品〕（店員）	来客数の動き	・冠婚葬祭などで全体の売上が伸びている。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	来客数の動き	・売上も例年以上の数値が見込まれ、大口で一括の注文が増加している。
		その他飲食〔ハンバーガー〕（エリア担当）	来客数の動き	・新商品のキャンペーンを開始した直後から、来客数の増加が続いている。今までは瞬間的な増加であったが、今月はかなり継続性がある。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・婚礼件数、一般宴会件数ともに大きく増加している。
		旅行代理店（団体営業担当）	単価の動き	・近距離より長距離の旅行客が増加し、単価が上昇している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・近距離の利用は多いが遠距離のものは少なく、利用客数の割には売上は伸びない。自家用車やビジネスホテルを利用する人が多い。
		通信会社（通信事業担当）	販売量の動き	・月の契約数が順調に伸びている。
	競艇場（職員）	来客数の動き	・新しい発売方式が導入され、来客数が増加している。	
	住宅販売会社（経理担当）	販売量の動き	・新規発売物件への来客数、契約数が好調で、全体の契約数も20%程度増加している。	
	変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・客の求める単価が低下しており、値踏みしながら買物する客が増加している。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・12年ぶりの店舗リニューアルの結果により売場は良いが、催事場は悪い。
		百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・単価の下げ止まり感はあるが、まだ低下傾向は続いている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は1.2%増加したが、バーゲンハンターが多く、客単価は低い。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・気温が高く、おでん等鍋材料のピークアウトが半月程度早まったが、その分乳飲料が伸びており、全体としては例年並みで推移している。
		スーパー（店員）	単価の動き	・野菜や果物は、低価格が続いており、その他の物は、安い物しか売れない。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・値段や量などを吟味して納得したうえで買う客と、値段の安い弁当をためらうことなく買う客との2通りに分かれている。 ・客はおまけがついた商品など付加価値のある物を選択しており、シビアに買物をしている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・以前は単価を下げればそれなりの売上は出ていたが、最近は単価を下げても販売量はあまり増加しておらず、売行きも悪く利益が出ていない。
衣料品専門店（地域ブロック長）		単価の動き	・販促効果により来客数は増加するものの、売上単価は低下している。 ・フレッシュマンの売上単価も低く、低価格を要望する客が多い。	
家電量販店（店員）		来客数の動き	・来客数は変わらないが、販売単価が低下し、販売点数も減少している。	
乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・好調なのは新型車が発売されたときだけで、あとは変わりがない。		
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車が出て販売が伸びているものの、予定の90%ほどで厳しい状況になっている。		
一般レストラン（店長）	来客数の動き	・昼の来客数が回復傾向にあるが、依然夜の来客数が回復しない。特に遅い時間の減少が目立つ。		

		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・会社関係の客が減少している。
		観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・個人の消費単価が低下しており、館内利用の消費単価が下落している。
		タクシー運転手 通信会社（経営者）	お客様の様子 お客様の様子	・歓送迎会の回数が少ない。 ・加入契約が前月実績をやや下回り、従来平均も下回っている。
		パチンコ店（企画担当）	来客数の動き	・30～40歳代の客が減少しているが、おおむね横ばいの状態である。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・仕事がない状況が続いている。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	お客様の様子	・来客数は横ばいであるが、売上は減少している。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・男性向けの衣料全体が厳しい状況にあり、特に紳士服の動きが極めて悪く、単価も低下している。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・新メンズブランドに対する関心はあるが、一般商品、特にミセス物は低迷している。 ・客の購買姿勢はより厳しくなっている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・サンダル等の夏物に客が反応していない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・目玉商品を買う客が増加している。
		乗用車販売店（所長）	お客様の様子	・車検の依頼はあるが、最低の値段を希望する客が多い。 ・販売に関しては交渉が長引き、商談がまとまっても条件が厳しい。
		乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・毎年3月は一番売れる月だが、例年に比べ80%まで減少している。 ・新型車との端境期も原因となり、3か月前との比較においてもやや悪くなっている。
		その他専門店【時計】（経営者）	お客様の様子	・土、日の商店街への来客数は多いが、買物客は少ない。
		都市型ホテル（従業員）	単価の動き	・レストランや宴会の受注単価が低下している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・官公庁の送別会は控えたり、派手にならないようにするよう内部通達が出ている一方で、中小企業では新入社員がいないため、歓送迎会などは少なくなっている。 ・歓送迎会からの帰り客も電車などで早く帰り、タクシーには乗らない。
悪くなっている		通信会社（営業担当）	競争相手の様子	・同業者の代理店で、店舗を閉鎖するところが増加している。
		コンビニ（エリア担当）	競争相手の様子	・閉店する店舗が目立つ。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・必要な物以外は買わないという傾向が強まっており、高付加価値の物でなくては売れない。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・低価格な小型車への問い合わせが多く、販売は厳しい状況にある。
		都市型ホテル（営業企画担当）	お客様の様子	・県内の食肉業者の不祥事が明らかになり、沈静化しつつあった食肉不信が再燃しそうな状況にある。 ・デザートバイキングやランチバイキングの客足は好調であるが、ディナーバイキングは料金的な面から敬遠され、客足が鈍りつつある。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量がこれまでの60%から100%まで急激に回復しており、受注量の回復に伴って、採用の要請が現場から出ている。
	変わらない	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・有機化学品、樹脂、電子材料など、依然として需要が低迷している一方で、無機化学品など一部需要が伸びている物もあるが、全体としては2、3か月変化していない。
		鉄鋼業（広報担当）	受注価格や販売価格の動き	・鋼材の国内在庫が徐々に減少し、鋼材市況価格が落ち着きつつある。
	非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・電気材料製品は受注量、販売量ともに低迷したままである。	

		電気機械器具製造業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・液晶部品については回復の傾向があるものの、完成品については回復の傾向がみられない。	
		通信業（社員）	取引先の様子	・客に値引きを要求され、ほとんど利益の出ない工事の取引がまだある。	
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・通信サービスの販売量は年度末が近づいても伸びておらず、顧客の手控え感が強い。	
	やや悪くなっている	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・一部伸びている商品もあるが、全体としては一段と悪化しており、顧客からの発注量も減少傾向に歯止めがかからない。	
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・多くの企業で売上の減少が続いており、固定費をカバーするのが苦しい状況で、借入金の圧縮を図っている。 ・売上の減少は10～20%がほとんどで、設備投資などの前向きな需要はほとんどない。	
	悪くなっている	会計事務所（職員）	取引先の様子	・親会社がこれまで出していた見積りを打ち切ったり、これまでになかった割合での受注額の大幅カットを要求している。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	-	-	-	
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	雇用形態の様子	・人材派遣の需要は依然堅調であるが、企業のコストダウンに対する意識は非常に高く、人件費の安い非正社員のウエイトを高めており、正社員の雇用は依然厳しい。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・求人、求職ともに量は変わらない。正社員は減少傾向にあり、パートや嘱託が増加している。	
		新聞社職員〔求人広告〕（広告営業担当）	求人数の動き	・依然として求人件数は、例年を大幅割れている。 ・求人企業の偏りが見受けられる。	
		職業安定所（職員）	それ以外	・3月は28人の人員整理がある会社が1社あるのみで、景気の悪化による解雇が減少している。	
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・窓口に来る求職者の数に変化がない。	
		民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・企業からの求人はより高度な人材を求めようになっている。当初は採用の可能性のあった者が日を追うごとに不採用となっている。	
		民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・採用基準を上げてくる企業の増加が顕著で、採用に結び付きにくいことから、採用者数は増加しない。	
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・新卒者に対する求人企業数は例年並みである。	
		やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・新卒採用を打ち切り、採用数を削減する企業が出てきている。 ・中途採用の募集も相変わらず不調であり、人員のスリム化が進んでいる。
		悪くなっている	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・官公庁は外注化の動きが大きいのが、民間企業における外注に対する意欲が急速に低下しつつある。
			人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・企業での人員過剰の調整が進み、系列やグループ内での雇用維持、確保に走り始めている。
			職業安定所（職員）	求人数の動き	・電気部品製造業、衣料品製造業、建設業からの求人の落ち込みが更に大きくなっている。